

平成23年度 事業計画

平成23年4月1日～平成24年3月31日

財団法人 井上育英会

資性俊秀で将来各方面のリーダーとなりうる学生を対象に、下記の育英事業を実施する。低金利による収入減の対策としては、昨年度と同様積立金を取り崩すこととし、賛助会員を主たる対象とした育英醸金活動を一層強化していくこととする。

1. 奨学生の選考・奨学金の貸与

- (1) 9大学を対象として育英事業の充実を目指す。
本年度の新規貸費生は15名を目標とする。
貸費月額は、最高35,000円とする。
- (2) 募集に当たっては、優秀な学生の推薦を得るため、卒業生のネットワークを活用して大学当局とのコミュニケーションを強化する。
ホームページを充実して、当会の特色をPRし、募集活動を行う。

2. 貸与学生に対する勉学、進路等の指導・助言

- (1) 月例会等において直接学生に月次の貸費を支給すると共に、社会人として活躍しているOB賛助会員の講話や講演等を通じて、学生たちの勉学意欲の増進や視野の拡大を図る。また、学生からの要望に応じて今後の勉学、進路について指導・助言を行う。地方支部においても同様の活動を行う。
- (2) 卒業時には全国の卒業生、及び新規採用学生を集め当会の幹部及び卒業生が講話を行い、当会に対する理解を深める。また社会人として健康で十分貢献できるように指導・助言を行う。
- (3) 在籍学生に対し健康増進と心身鍛練のため、会員の指導のもとにスキー講習会ハイキング等を実施する。あわせて会員が親しく寝食を共にしながら、社会人として必要な素養を身に付けるよう指導する。
- (4) 会誌「新桜菱」を年4回発行し、また会員名簿を発行して、在籍学生及び賛助会員の相互のコミュニケーションの強化に資する。会誌の記事は、その大半を在籍学生が執筆・寄稿する。

3. 育英資金の募金

会員（桜菱会会員）を主たる対象とし育英資金の募金を行い、財政基盤強化、事業の発展に資する。

4. 新制度への対応

公益法人関連三法の施行（平成20年12月）に対応するための第一段階として、昨年は桜菱会を吸収合併した。今年度は、公益認定委員会に申請を行い公益財団法人となることをめざす。

平成23年度 収支予算書
平成22年4月1日～平成23年3月31日

財団法人 井上育英会
(単位:円)

科目	H23年度予算	H22年度予算	増減
事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
貸費償還金収入	10,000,000	10,000,000	0
基本財運用収入	811,550	811,250	300
債券利息収入	811,300	811,000	300
貸付信託利息収入	250	250	0
育英事業基金(加島)運用収入	1,200,000	1,500,000	300,000
配当金収入	1,200,000	1,500,000	300,000
育英事業基金運用収入	7,355,000	7,563,000	208,000
債券利息収入	7,355,000	7,563,000	208,000
奨学資金積立金運用収入	5,906,600	5,336,600	570,000
預金利息収入	600	600	0
債券利息収入	5,756,000	5,261,000	495,000
配当金収入	150,000	75,000	75,000
育英資金醸金収入	3,500,000	3,500,000	0
会費収入	2,200,000	2,175,000	25,000
寄付金収入	0	0	0
事業活動収入計	30,973,150	30,885,850	87,300
2. 事業活動支出			
奨学貸付金支出	17,000,000	18,400,000	1,400,000
事業費支出	20,255,400	24,301,600	4,046,200
監督指導費支出	2,150,000	2,150,000	0
修養懇談費支出	5,000,000	3,978,000	1,022,000
体育奨励費支出	0	250,000	250,000
会誌等発行費支出	1,500,000	1,000,000	500,000
名簿作成費支出	0	782,000	782,000
学生選考費支出	100,000	100,000	0
給料手当支出	5,460,000	8,100,000	2,640,000
福利厚生費支出	600,000	900,000	300,000
旅費交通費支出	920,000	1,265,000	345,000
通信運搬費支出	800,000	1,019,000	219,000
備品消耗品費支出	109,000	139,500	30,500
図書印刷費支出	250,000	319,500	69,500
家賃共益費支出	3,010,000	3,870,000	860,000
水道光熱費支出	255,000	326,700	71,700
保険料支出	1,400	1,900	500
雑費支出	100,000	100,000	0
管理費支出	7,621,600	4,445,600	3,176,000
給料手当支出	3,040,000	900,000	2,140,000
福利厚生費支出	400,000	100,000	300,000
旅費交通費支出	180,000	85,000	95,000
会議費支出	900,000	750,000	150,000
通信運搬費支出	300,000	114,000	186,000
備品消耗品費支出	46,000	15,500	30,500
図書印刷費支出	105,000	35,500	69,500
家賃共益費支出	1,290,000	430,000	860,000
水道光熱費支出	110,000	36,300	73,700
慶弔慰籍費支出	150,000	140,000	10,000
保険料支出	600	300	300
雑費支出	350,000	349,000	1,000
新制度移行対策費支出	750,000	1,490,000	740,000
事業活動支出計	44,877,000	47,147,200	2,270,200
事業活動収支差額	13,903,850	16,261,350	2,357,500
投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資有価証券償還収入	132,000,000	30,000,000	102,000,000
奨学資金積立金取崩収入	20,000,000	20,000,000	0
事業運営基金取崩収入	0	1,500,000	1,500,000
投資活動収入計	152,000,000	51,500,000	100,500,000
2. 投資活動支出			
投資有価証券取得支出	132,000,000	30,000,000	102,000,000
什器備品取得支出	0	0	0
育英醸金繰入支出	3,500,000	3,500,000	0
退職給付積立金支出	405,000	405,000	0
投資活動支出計	135,905,000	33,905,000	102,000,000
投資活動収支差額	16,095,000	17,595,000	1,500,000
財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
予備費支出	120,000	120,000	0
当期収支差額	2,071,150	1,213,650	857,500
前期繰越収支差額	2,280,000	4,488,413	2,208,413
合併による繰越収支差額増加額	0	283,969	283,969
次期繰越収支差額	4,351,150	5,986,032	1,634,882

(注) 1 借入金限度額 0円
2 債務負担額 0円